

平成28年度学校関係者評価委員からの評価や提言等(概略)

鹿児島県立国分高等学校

平成28年度は学校関係者評価委員会を3回開催した。委員からは、概ね良好な評価をいただいた。以下に、委員からの評価や提言等の概略を示す。

1 全般

学校が全体的に落ち着いており、ボランティア活動など信頼される学校づくりができている。授業参観時の授業態度も落ち着いており、挨拶が非常に良い。また、高い進学実績を残しながら、部活動においても複数の部が全国大会出場に出場している。

今後とも、文武両道を高いレベルで実現させるよう期待する。

2 学業面

(1) 理数科は課題研究発表大会等で全国大会で上位入賞するなど高い成績を収めている。

新聞等でも取り上げられているが、まだ地域に活躍を知らない人たちもいる。もっと活動内容や成果を地域に発信したほうがよい。

(2) 県外の大学等の進路情報をより積極的に生徒へ提供し、難関大学を目指す高い意識の生徒を育て、進学の支援をしてほしい。

(3) 難関大学への合格が高校入試の募集に影響すると思われる。頑張らせてほしい。

3 生活面

(1) 登下校時に細い道で車が通るときなど、登下校のマナーが悪い生徒がいる。状況判断を的確に行うように指導してほしい。

(2) 放置自転車については少なくなってきた。継続的に指導してほしい。

(3) 登下校指導の成果が今年はよく見えるようになってきた。徒歩での通学マナーや自転車通学での交通マナーなどについて継続して指導してほしい。